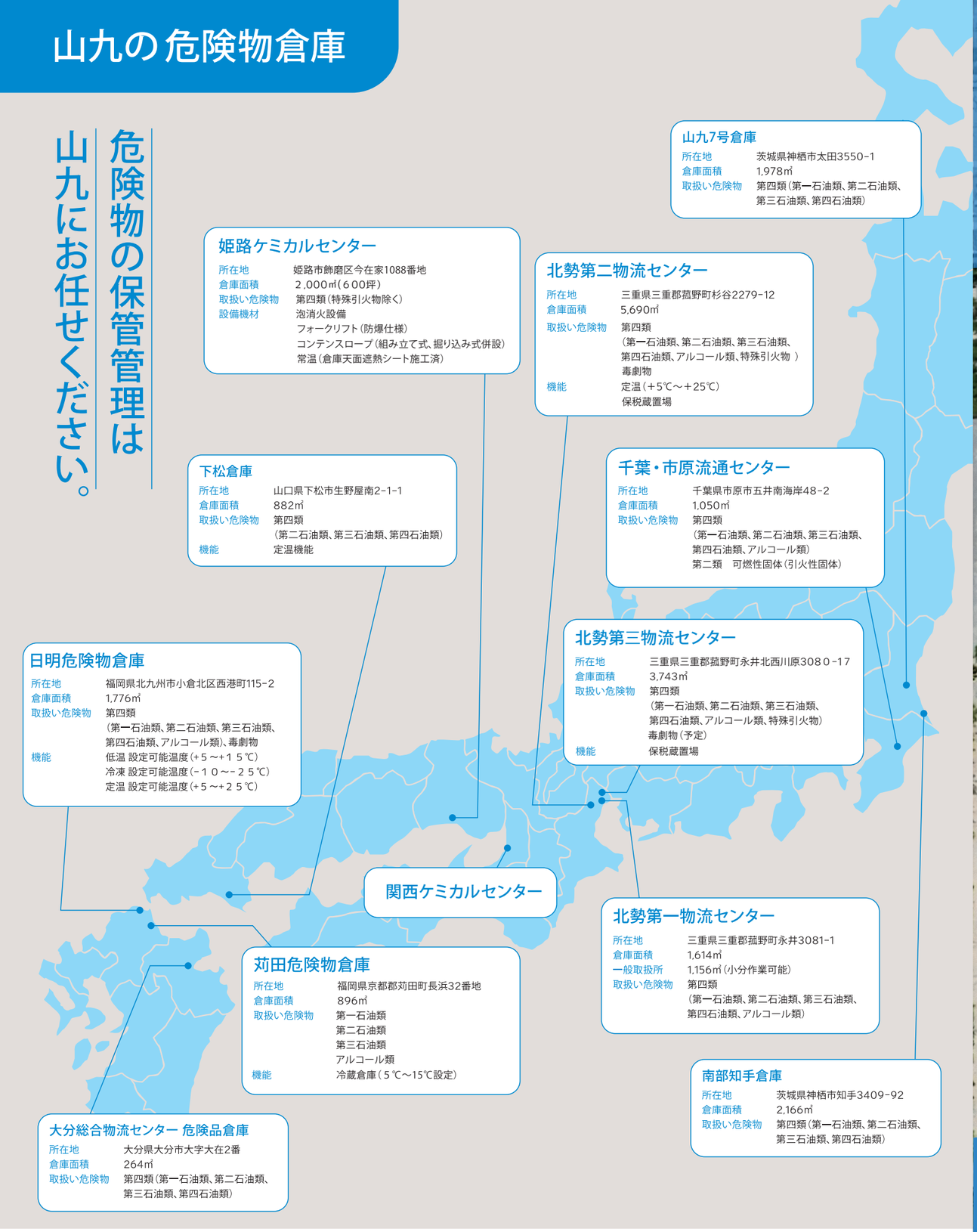
山九の危険物倉庫

危険物の保管管理は
山九にお任せください。



山九7号倉庫

所在地　茨城県神栖市太田3550-1
倉庫面積　1,978㎡
取扱い危険物　第四類（第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類）

姫路ケミカルセンター

所在地　姫路市飾磨区今在家1088番地
倉庫面積　2,000㎡（600坪）
取扱い危険物　第四類（特殊引火物除く）
設備機材　泡消火設備
フォークリフト（防爆仕様）
コンテンスロープ（組み立て式、掘り込み式併設）
常温（倉庫天面遮熱シート施工済）

北勢第二物流センター

所在地　三重県三重郡菰野町杉谷2279-12
倉庫面積　5,690㎡
取扱い危険物　第四類
（第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、アルコール類、特殊引火物 ）
毒劇物
機能　定温（＋5℃～＋25℃）
保税蔵置場

下松倉庫

所在地　山口県下松市生野屋南2-1-1
倉庫面積　882㎡
取扱い危険物　第四類
（第二石油類、第三石油類、第四石油類）
機能　定温機能

千葉・市原流通センター

所在地　千葉県市原市五井南海岸48-2
倉庫面積　1,050㎡
取扱い危険物　第四類
（第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、アルコール類）
第二類　可燃性固体（引火性固体）

北勢第三物流センター

所在地　三重県三重郡菰野町永井北西川原3080-17
倉庫面積　3,743㎡
取扱い危険物　第四類
（第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、アルコール類、特殊引火物）
毒劇物（予定）
機能　保税蔵置場

日明危険物倉庫

所在地　福岡県北九州市小倉北区西港町115-2
倉庫面積　1,776㎡
取扱い危険物　第四類
（第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、アルコール類）、毒劇物
機能　低温 設定可能温度（+5～+15℃）
冷凍 設定可能温度（-10～-25℃）
定温 設定可能温度（+5～+25℃）

関西ケミカルセンター

北勢第一物流センター

所在地　三重県三重郡菰野町永井3081-1
倉庫面積　1,614㎡
一般取扱所　1,156㎡（小分作業可能）
取扱い危険物　第四類
（第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、アルコール類）

苅田危険物倉庫

所在地　福岡県京都郡苅田町長浜32番地
倉庫面積　896㎡
取扱い危険物　第一石油類
第二石油類
第三石油類
アルコール類
機能　冷蔵倉庫（5℃～15℃設定）

南部知手倉庫

所在地　茨城県神栖市知手3409-92
倉庫面積　2,166㎡
取扱い危険物　第四類（第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類）

大分総合物流センター 危険品倉庫

所在地　大分県大分市大字大在2番
倉庫面積　264㎡
取扱い危険物　第四類（第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類）

連絡先

山九株式会社泉北支店

関西ケミカルセンター
〒592-0001 大阪府高石市高砂2丁目1番地
TEL 072-268-3909　FAX 072-268-3910

営業企画グループ
〒592-8335 大阪府堺市西区浜寺石津町東2丁3番30号
TEL 072-243-3912　FAX 072-243-3913

SANKYU

第5版

SANKYU

関西ケミカルセンター

関西最大級の危険物倉庫

KANSAI CHEMICAL CENTER

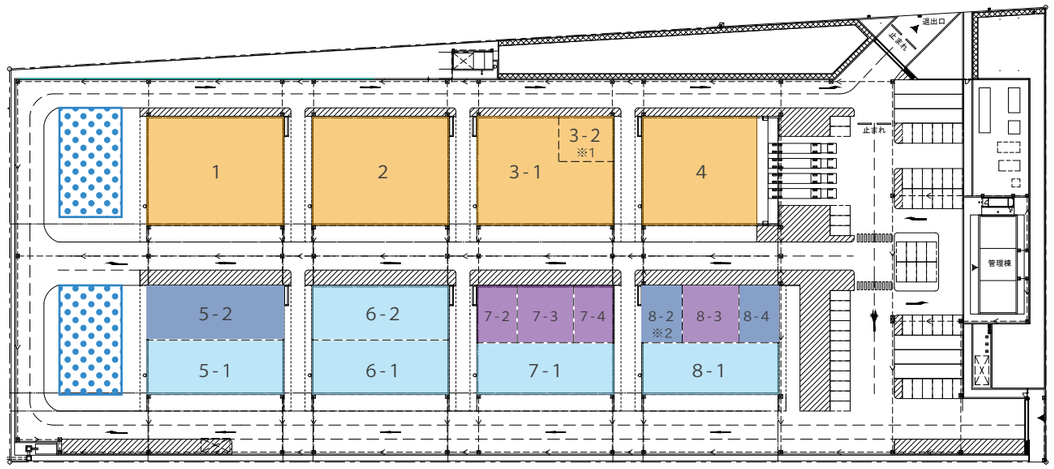
関西ケミカルセンター概要

規模	敷地面積 27,248.04㎡（倉庫面積 7,944.716㎡） 倉庫８棟　≪常温倉庫 ４棟　（内高床式倉庫 1棟）　温度管理倉庫 4棟≫
対応危険物	第１類【酸化性固体】　第２類【可燃性固体】　第４類【引火性液体】 第５類【自己反応性物質】　指定可燃物　毒劇物 保管可否・管理方法等については要相談
機能・設備	保税機能 ドックレベラー（4基） 防爆フォークリフト 泡消火設備
ＢＣＰ対応	非常用発電設備（24時間） 床レベルO.P.＋5.0m（BCP対応）
セキュリティ	警備員常駐（夜間　土日祝日） 監視カメラ、赤外線センサー
その他	小口配送、冷蔵輸送、付帯作業にも対応

大阪南港から19km

関西空港から28km

平面図



常温　15℃～25℃　2℃～25℃　2℃～25℃（定温機能±3℃）加温機能

※1　第１類　第５類　専用　　※2　第５類　専用

貴社専用のオーダーメイド倉庫建設も検討可能

その他特徴　●保税機能　●非常用電源設備　●庇4.5m（雨天時荷役対応）

特徴

高床式倉庫

●海上コンテナに対応した
高床式倉庫とドックレベラー4基設置

温度管理倉庫

●幅広い温度帯（2℃～25℃）に
対応した温度管理倉庫
●各部屋の温度は管理棟にて一元管理
（温度履歴データ保管）

ＢＣＰ対応

非常用電源設備

●24時間電源供給（燃料は軽油）
燃料補給で持続して電源供給
が可能。

浸水・津波対策

●ＧＬレベルはO.P.
（大阪湾最低潮位）＋5m
●空調設備、電源設備は
さらに1m嵩上げ